



青雲同窓会報

発行
岩手県立花北青雲高等学校
青雲同窓会
〒028-3172
岩手県花巻市石鳥谷町
北寺林11地割1825番地1
TEL 0198 (45) 3731
FAX 0198 (45) 3746

発行人
会長 藤原康洋

「学校創立五十周年」



同窓会会長

藤原康洋

日頃より、同窓会に対しましてご支援、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

年を重ねるごとに一年が過ぎるのが早く感じるといういまですが、まさにそんな感じの年末です。令和五年の世相を表す漢字一文字は「税」とのこと。増税、脱税、インボイスとそんな言葉を思い浮かべる人が多かったようです。ただ、今年の漢字を発表した後

にダイハツ自動車の検査不正問題が露見し、暑い盛りのビッグモーター事件と合わせて考えると「車」という字も印象に残りました。そんな折、政治とお金の問題にもスポットライトが当たり、これまで表ざたにならなかつた潜在的、長期にわたって行われてきた事実について当局の捜査が続いています。国民が納得する聖域なき厳格な結

末を期待したいものです。

少子高齢化といわれて久しくなりますが、私の地域もご多分に漏れずその影響が年々ひどくなってきました。令和に入ってから新型コロナウイルス感染症もあり、地域の集まりものの行事は軒並み延期か中止、特にも飲食を伴う行事は何年も休んでいっているうちに開催しなくなってしまったという声が高まり廃止になるなど、地域のコミュニティも寂しい方向に向かっていきます。また、地元の祭りのお神輿は、地元の青年部や子供会が中心になってこれまで続けてきましたが、昨年からは両団体ともに人手不足で対応できなくなり、地元の公民

館が音頭を取って年齢関係なく協力できる地域の人たちを集め、何とか神輿の運行となりました。共通の趣味など地域にこだわることなく幅広く人を集められる団体の行事はともかく、地域住民が中心となる行事はこの先五年、十年後のことを想像してみると頭がクラクラしてきます。何をやるにしても一声かければ人が集まり、にぎやかで活気があった頃がとても懐かしいです。

さて、本校は令和六年度に学校創立五十周年を迎えます。一昨年秋季に五十周年事業に対応すべく実行委員会を組織して、式典・祝賀行事・記念事業・記念誌編集と四つの委員会ごとに協議・検討を重ね、事業実施に向けて準備を進めています。記念式典は十月五日に行う予定です。また、同窓会の事業では、新型コロナウイルスで開催を見送ってきた総会・懇親会が

本部と東京支部ともに久々に実施することができました。携帯やリモート勤務など便利な世の中になりましたが、やっぱり顔を合わせての集まりがいいです。

現在の同窓会は、令和五年の卒業生百二十五名が入会し、現在の会員数は七千七百六十三名となっています。高等学校再編が進んできていますが、これからも少子化はどんどん進行します。これまでも本校の生徒の活躍など様々な話題を通して本校の魅力が学校から新聞やテレビなどを通じて情報発信しています。多くの子どもたちに本校を志望してもらえよう祈っております。

結びに本校創立五十周年の今年は、同窓会員の皆さまにはこれまで以上に同窓会活動にご理解をいただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

ごあいさつ



花北青雲高等学校

校長 小松 了

今年度四月より、花北青雲高等学校に校長として赴任いたしました小松了（こまつさとる）と申します。

青雲同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本校は今年度、創立四十九年目となり、来年度には創立五十周年を迎えます。昭和四十九年に花巻北高校から独立、花北商業高校としてスタートし、平成十五年に情報工学科一学級、ビジネス情報科二学級、総合生活科一学級の三学科からなる、総合的専門高校として、新たな歩みを始めてから二十年目を迎えました。情報工学科、ビジネス情報科、総合生活科における高度な専門的な学びに加え、総合的専門高校の特長である他学科の科目を学べる横

断的な学びにより、本校の生徒たちは職業選択等、進路選択の幅を広げながら専門性を高めています。

三年に渡り猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、五月には感染症法上の位置づけが五類へと移行したことで、様々な制約が緩和され、日常の学業や学校行事、部活動等も感染対策等を講じながらではあるものの、ほぼコロナ禍前の状態で実施することができるようになりました。これまで常に制約を受けながら学校生活を送ってきた生徒のことを思うと、何よりも嬉しく感じています。

通常の学校生活に戻ってきた今年度も、生徒たちは今自分がやるべきことに真剣に取り組み、素晴らしい活躍を見せてくれました。部活動では、全国大会にバ

ドミントン部、O A部、珠算部、文芸部、工学研究同好会が出場し、卓球部も東北大会に出場しております。また、県家庭クラブのホームプロジェクト発表においても、本校二年生の生徒が最優秀賞となり、東北大会に出場しております。その他、商業研究同好会による地域貢献活動や、生活研究同好会によるフードバンクなどの活動等、まさに制約から解放された如く活躍が目立っております。これらの活躍は、先輩から後輩へ受け継がれてきた、青雲生の何事にも全力で取り組む姿勢の証しであります。これ以外の詳しい生徒の活動状況についても、本校のホームページに随時掲載しておりますので、是非ご覧いただければと思っております。

進路面では、生徒が自分の進路希望を達成できるように、進路指導の内容を充実させております。特に就職指導では、外部機関と連携した面接指導や企業訪問、企業説明会を積極的にを行いキャリア意識の向上を図っております。今年度の就職状況としては、公務員には六名が内定し、民間と

合わせた就職内定率は百分となりまして。進学については現在のところ四年制大学に三十三名、短期大学に十一名が合格し、専門学校に三十七名が合格しております。三年生百二十六名のうち八十一名が将来の職業選択を見据えて進学することになり、生徒の進学の割合は六割を超える状況となっております。

さて、一月の青雲講演会では、小野聖哉様（三十三回生平成十八年度卒）から「社会人としての責務―納税義務の視点から―」と題して、ご講演をいただきました。

来年度（令和六年度）本校は創立五十周年を迎えます。令和四年八月二十六日に、創立五十周年記念事業第一回実行委員会を開催し、その後実行委員会は第四回まで開催されております。周年事業に向けて準備も本格化し、各専門委員会ごとに具体的な事業内容の検討が進められているところです。今後も周年事業の成功に向け、同窓会の皆さまの一層のご協力をお願いいたします。

講演では三年生に対して、社会人になって初めてもらう給与について給与明細は必ず確認することや、給与から引かれる税金等についての話し、そして一年に一回の年末調整について詳しく丁寧に教えていただきました。また、講演の最後には、社会人として意識してもらいたいこととして、「失敗する勇氣」・「嫌な仕事を優先的、積極的に行うこと」・「失敗しても落ち込まない不撓不屈の精神」・「上司に意見できる勇氣」などについて、ご自身のこれま

での経験から学んだことを後輩たちに教えていただきました。講演を聴いた三年生は、小野様のメッセージに心を打たれ、新たな決意を胸に秘めたことと思えます。

最後にありますが、同窓生の皆さまには、在校生への多方面にわたるご支援をいただいておりますことに改めて感謝申し上げますとともに、今後も地域社会の未来を担う人材育成に取り組んで参りますので、同窓生の皆さまの温かいご支援とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

三年ぶりの同窓会総会、懇親会

八月二十六日(土) 令和五年度青雲同窓会総会と懇親会が、新亀家さんを会場に行われました。

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策もあり、昨年までは総会を含めた懇親会は実施できませんでした。コロナ以前のような形で開催するのは実に三年ぶりとなりました。

当日は、同窓会東京支部から三名の出席をいただき、六十数名の参加がありました。出席した同窓生によるマジックショー(?)もあつて、同窓生同士も思い出話に花を咲かせ、親睦を図る時間にもなりました。



〈手紙〉

同窓会事務局の皆様

八月の同窓会に初めて出席しました。

思っていたものとは違ったものの、良い時間を過ごさせていただきました。やっぱり北商は変わらなかつたかいなと思いましたが、学生時代の自由だったり、熱意だったり、温かさを思い出し楽しく過ごすことができました。

終わつた後も、LINEで繋がり、来ることができなかつた参加者以上のたくさんの人達とも連絡が取れるようになりました。

よいきつかけを作つていただきありがとうございます。本当にたくさんさんの準備、手配が必要だつたと思います。直前まで変更があつたりと本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございます。

こんな言葉があります。『両手いっぱい仕事を持つのは風を追うようなことだ。それよりも、片手は休息で満たす方が良い』みなさんも仕事も休息も良いバ

ランスを保てますように。楽しい時間をありがとうございます。ございました。

感謝を込めて
昭和五十六年度卒業生



東京支部総会の開催

東京支部長

佐々木則司

令和五年十一月二十五日(土) 東京都港区新橋で東京支部総会を開催いたしました。

本会からは佐藤智栄副会長ほか二名の理事、学校からは小松了校長先生、佐々木創先生にご出席いただきました。お忙しいなかお越しいただきありがとうございます。

東京支部会員は十九名と例年の半数以下となりましたが四年ぶりで、時期も例年の六月とは違う時期でありましたが、開催できたことに感謝したいと思います。

新型コロナウイルス感染症は令和五年五月から五類感染症となりましたが、この頃の状況では大人数での宴会等はまだまだ開催しにくい状況でありました。

八月二十六日の本会の総会開催を受けての東京支部総会の開催となり、十一月



という年末に近い開催となったことについては申し訳なく思っております。次回以降は六月開催を含めて検討をしているところです。

今年三月に卒業される皆さままで、東京や関東に入学、就職される方々は是非、東京支部総会に参加していただくことを期待します。ここ三年間新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったこの期間の卒業生の方も参加していただければと思います。

皆さまどうか同級生などにお声がけいただき、先輩たちとの交流を深めて頂ければと思います。心よりお待ちしております。



4月

一年間の学校行事
スナップ

入学式



5月

あいさつ運動



避難訓練



7月

全校野球応援



6月

体育祭



同窓会激励式



生徒デザイン自販機お目見え

9月



11月

修学旅行事前学習



ロードレース大会



10月



青雲祭



◆青雲講演会◆

講師 小野聖哉氏

プロフィール

平成十九年 三月 花北青雲高等学校ヒジネス情報科卒業
 平成二十二年三月 富士大学経済学部経営法学科卒業(学士)
 平成二十六年三月 富士大学大学院経済・経営システム研究科
 経済学専攻修了(租税法修士)
 平成二十六年四月〜現在 東海林英則税理士行政書士事務所
 勤務チーフ監査員、巡回監査士

講演要旨

私は大迫の出身で、実家は「本家ねぎみそ屋」というラーメン屋をやっています。一押しメニューは「しょうが辛みそラーメン」です。機会があればお寄りいただきたいと思えます。

次に自分の紹介ですが平成十六年四月に花北青雲高校に入学しました。在学時代は硬式野球部に所属していました。そして三年間担任していただいたのが、渡邊清一先生です。高校卒業後は、富士大学に入学し、コンビニでアルバイトをし

ながら大学で税金に関する勉強を四年間学び、あこがれの税理士資格取得を目標に、さらに同大学院で学びを深めながら税理士資格を取得し、現在の税理士事務所勤務しております。

税理士の大まかな業務内容ですが、個人事業主や企業が作成する「決算書」や「法人税申告書」、「年末調整」、「相続税の確定申告書」などの代行業務があります。しかし一年分の決算書や確定申告書をいきなり作成するのは至難の業です。そのため花巻市内にある



様々な中小企業や個人事業主のところを定期的に訪問し、毎月の売り上げ情報をもとに社長と今後の活動や資金繰りについて計画を立てます。企業は税金を国や県、市町村などに納めなければなりません。それを全てやろうとすると非常に負担が重くなります。私たちは毎月お客様から、顧問料、決算の際には決算料を別途いただいております。それらの業務を手伝いするのが税理士の

重なりがちです。企業側は、皆さんが最初からできる人とは思いません。迷って行動に移せずに怒られてしまうより、失敗しても構わないと覚悟を見せて行動する方が企業から評価されます。失敗する勇気をもって行動してみてください。



二つ目は嫌な仕事は後回しにせず、最初にやることです。嫌

役割です。そのような意味で頼りにされる仕事とも言えます。私からの応援メッセージは、新社会人として意識して欲しいことを言わせてください。社会に出ると覚えることが多く、自分の行動に対して慎重

な状況に直面すると、人は何でも後回しにしがちです。仕事をしていると成功した経験よりも、我慢してやらなければならぬことが多々あります。会社において優秀な人材は、能力ではなく性格になります。成績が悪くて自信をなくしている生徒さんも、いらつしやると思いますが、社会では(学校の)成績はあまり関係ありません。以上のことを頭に入れて、四月から新生活を送っていただいたいと思えます。高校生活は戻りたくても、気づいたときにはありません。悔いのないように残りの高校生活を過ごしてください。ご清聴ありがとうございます。

令和5年度民間就職・公務員・進学内定状況(令和6年2月1日現在)

就職(企業名・種別)	職種	※公務員の()の数値は合格者数、右側の数値が進路決定者数						※企業名・学校名 順不同							
		情報工学科		ビジネス情報科		総合生活科		進学(学校名・学科名)							
		男	女	男	女	男	女	情報工学科	ビジネス情報科	総合生活科	男	女	男	女	
【建設業】 管内 (株)小田島組 社寺工舎	総合職 大工見習	1						【国公立大学】 7 弘前大学 人文社会学部 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 福島大学 人文社会学群 信州大学 経法学部							
県内 (有)大和ホーム 日成(株)	大工 電気工事士見習	1						【私立大学】 26 八戸工業大学 工学部 岩手医科大学 看護学部 岩手医科大学 薬学部 盛岡大学 栄養科学部 盛岡大学 文学部 石巻専修大学 理工学部 東北工業大学 工学部 東北工業大学 ライフデザイン学部 東北学院大学 経営学部 東北学院大学 工学部 東北芸術工科大学 デザイン工学部 東日本国際大学 健康福祉学部 埼玉工業大学 工学部 日本工業大学 先進理工学部 淑徳大学 看護栄養学部 大妻女子大学 社会情報学部 東京経済大学 経営学部 二松学舎大学 国際政治経済学部 立正大学 データサイエンス学部 城西国際大学 国際人文学部 神戸親和大学 教育学部							
小計	4	4	0	0	0	0	0	1							
【卸売業・小売業】 管内 (株)メディセオ (株)LEP INTERNATIONAL (株)PALTAC東北支社	商品管理 デスク業務 物流職	1				1									
県内 イオン東北(株) ホンダカーズ岩手南(株) (株)デンコードー (株)R1000	総合職 営業事務 総合職 衣服販売員					1	1								
県外 水戸工業(株)	事務				1										
小計	8	2	0	0	2	0	4	1							1
【生活関連サービス業】 管内 hair space AI	美容師アシスタント				1		1								
小計	2	0	0	0	1	0	1								1
【宿泊業・飲食サービス業】 管内 花巻温泉(株) 花巻温泉(株)	ホスピタリティコック ゲストサービスアシスタント	1				1									
県内 (株)東横イン北上駅新幹線口	フロント						1								
県外 (株)西武・プリンスホテルズワールドワイド	宿泊部門						1								
小計	4	1	0	0	2	0	1								
【製造業】 管内 イーエヌ大塚製薬(株) イーエヌ大塚製薬(株) 東北資材工業(株) 日東工業(株) 富士フィルムヘルスケアアミニファクチャリング(株)	医薬品製造 経理 製品仕上 製造技能 製造技能			1	1										
県内 (株)サンデリカ (株)平山 (株)ワイ・デー・ケー サタケ東北(株) キオクシア岩手(株) キオクシア岩手(株) TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株) TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)	生産 惣菜商品製造 製造装置組立 技術総合職 技術職 技能職 生産技術 製造オペレーター					1	1								
小計	17	5	0	8	3	0	1								
【情報通信業】 県内 (株)リードコナン	一般事務				1										
小計	1	0	0	1	0	0	0								
企業就職内定者計	36	12	0	9	8	0	7								
公務員	職種	情報工学科		ビジネス情報科		総合生活科									
【公務員】 国家公務員 東北 税務職員 東北 岩手県職員 岩手県職員 花巻市職員	一般職 一般事務 電気 一般事務					(2)	(2)								
公務員合格者の数()	6	1	0	2	3	0	0								
公務員内定者計	6	1	0	2	3	0	0								
就職内定者総計	42	13		22		7									
進学(学校名・学科名)	進学(学校名・学科名)	情報工学科		ビジネス情報科		総合生活科									
小計	80	4	1	12	7	1	11								
【進学予備校・留学準備等】															
小計	0	0	0	0	0	0	0								
進路決定者総計	122	34		62		26									

新聞記事より

食品ロスなくしたい 全校から回収、寄付へ仕分け

花北青雲高
全校から回収、寄付へ仕分け



生徒たちの心のままに、ア組織での回収作業の様子。

花北青雲高 日花巻市面谷町の回収場。生徒たちの心のままに、ア組織での回収作業の様子。

食品の仕分け作業を行う生徒たち

回収された食品は、主に市内の福祉施設や高齢者施設などに寄付され、活用されています。

岩手日報
令和5年7月5日

起業者教育推進 熱心に 高校生ビジネスプラングランプリ 花北青雲へ学校賞



岩手日報
令和5年10月27日

フードドライブに高評価 ユニスコ奨励賞受賞

花北青雲高
PTAユニスコ同好会賞

フードドライブ活動の取り組みが評価され、ユニスコ奨励賞を受賞しました。



岩手日報
令和5年12月31日

短歌の風 第120回

花北青雲 地

声に出し味わいたい

10月に入って二度にわたって秋の短歌会を開催してきました。その声に出して味わいたいという思いで、詩集「短歌の風」を出版しました。

短歌の風 第120回 花北青雲 地

10月に入って二度にわたって秋の短歌会を開催してきました。その声に出して味わいたいという思いで、詩集「短歌の風」を出版しました。

岩手日報
令和5年10月19日

平野さんが最優秀賞

花北青雲 地

平野さんが最優秀賞を受賞しました。

岩手日報
令和5年10月27日

高橋さんに署長賞

花北青雲 地

高橋さんに署長賞を受賞しました。

岩手日報
令和5年11月18日

工藤さんが優勝

花北青雲 地

工藤さんが優勝しました。

岩手日報
令和5年11月21日

運動部・文化部の活躍

バドミントン部 インターハイ他

インターハイに参加して

三年A組 平賀 翔太

北海道で行われたインターハイに出場することができました。インターハイに出場できたのは日々の練習を欠かさずいつも全力でやっていたからこそだと思います。そして忙しい中教えてくださった先生方や、同級生、下級生そして、OBがいたからこそだと思います。インターハイに出場したのは初めてだったので嬉しく、その中に緊張もありました。去年はインターハイがかかった試合で負けとも悔しい思いをしたので、今年こそと強い気持ちで取り組んで来た成果が実り嬉しかったです。

実際に試合をしてみても一回戦は沖縄県の南風原高校と当たりました。最初の試合だったので不安や緊張でいっぱいだったけど、自分達のペースで出だしから試合の流れを掴んでそのままの勢いで行けたので良かったです。結果は二〇でストレート勝ちが出来たので良かったです。二回戦は第四



シードの富山県高岡第一高校と当たりました。相手は自分達よりも格上だったけど負けまいと喰らいつき、結果は一二で負けてしまったけど今まで一番満足する試合が出来たので良かったです。最後にこの経験を通じて努力とチームワークの大切さを学ぶことができました。インターハイは自分達にとつてただの大会ではなく、人生の貴重な一ページとなりました。

インターハイを通して

三年C組 森 柑奈

私は高校一年生の時からインターハイを経験してきました。一年生の時は、団体戦のメンバーとして出場しましたが、試合には出ませんでした。ですが、チームで勝利をつかむために、先輩方一人一人が全力で戦っていたのを見て、私も団体戦メンバーとしてだけでなく、個人戦でもインターハイの舞台に立ちたいと思います。二年生の時は、個人戦は県一位通過でインターハイに出場することができました。団体戦は出場することができず、とても悔しかったです。



インターハイではダブルス一回戦を突破できたことですが、大きいと思えます。ですが、やはり、団体戦で出場できなかつたことが心残りでした。また、岩手のレベルの低さを実感した大会でもありました。



三年生の時は団体戦も個人戦も出場することができました。念願の団体戦出場も叶ってとても嬉しかったです。団体にしても個人にしても、岩手県で一位でも全国に行つて一回勝つことですら難しいという自覚もあつたので、勝ちにこだわつてしまつたこともありましたが、最後のインターハイなので、勝つても負けても、全力で挑んで、全力で楽しみたいと思いました。結果は、団体戦は二回戦敗退、ダブルスは一回戦敗退でした。団体戦では、試合に出る人も応援する人もどちらも本当に全力を出し切つて、チームのために戦つていて、今までで一番良い団体戦の試合でした。個人戦は初戦敗退で悔しかったです。私的には全力で楽しく試合することができました。

引退するまでの期間、いろいろな経験ができて、とても貴重な時間を過ごすことができました。また、ダブルスも大分成長できたと思います。ですが、私がここまでいろいろな経験を重ねて成長できたのは、ずつと向き合つてくださった顧問の先生の方々、一番そばで応援してくれた両親、お互いに士気を高めあつてきたチームメイト、三年間ずっとダブルスを組んでくれたパートナーがいたから、私はここまで成長できたと思います。部活動で経験し、学んだことは、これからの生活でも活かしていきたいと思えます。

国体に参加して

三年D組 佐藤 鈴緒

私は十月十三日から鹿児島県で行われた特別国体少年女子の部に参加しました。大会前は進路活動との両立が難しかった。満足に練習ができなかつたため少し不安がありました。それでも少ない練習時間を大切に、二人で話し合いながら良い状態で臨めるよう準備してきました。一回戦は岐阜県と対戦しました。第一ダブルスに出場し、序盤からリードされる展開でストレート負けしてしまいました。攻撃で得点に繋げる場面があまり多くなかつたこと、ラリーを勝ち切る力不足が敗因だと



思います。国体はインターハイとは違う雰囲気、緊張感がありました。高校最後の全国大会でもあり、ラリー間に声を掛け合つて笑顔でプレーできたので、自分たちの雰囲気崩さずにできました。これまで様々な全国大会に参加させていただいたことは本当にありがたいことであり、私だけでは絶対にできなかったことを一緒にダブルスを組んでくれた相方や熱心に指導してくださった清一先生をはじめ顧問の先生方やコーチ、OBの方々、支えてくれた家族や友人、他校のバドミントンに励む仲間たち、互いに高めあつてきたチームメイトのおかげです。本当に心から感謝しています。この感謝の気持ちは今までも同じく、競技に向き合う姿勢や大会結果、プレーで恩返ししたいと思えます。大学進学後も競技を続ける予定のため、さらに実力を向上させていきたいです。また、残りの高校生活の部活動では先輩に県大会優勝を引き継いでもらえるように自分ができる最大限のサポートにも励んでいきたいです。



卓球部 東北大会 出発



珠算部・文芸部

全国大会に出場して

三年B組 工藤 晴

私がこの高校に通い始めてから三年という時間が過ぎました。その学校生活を振り返ると、たくさんのお出来事が思い出されます。とても充実していた高校生活。コロナウイルスの影響で制限されていた高校二年間を乗り越え、三年生から初めての体験を、決して当たり前でない貴重な体験を私たちはできたと思います。私は三年生の夏、全国ビジネス計算競技大会の珠算部に出場しました。一、二年生の時は、コロナウイルス流行のため、自粛していましたが、



規制が緩和され、出場する決断をしました。結果として、全国大会入賞という高い目標には届きませんでした。思っていたよりも、大会前、学校では休憩時間、家では夜遅くまで問題演習をする忙しい日々。あの頃は楽しくもあり、苦しくもありました。今思えば、青春の一部になりました。全国大会は岩手県大会とのレベルの違いを見せつけられました。有意義な時間を過ごすことができました。この経験が、珠算部に入部したことです。珠算部は掛け持ちという形で所属していました。小学生のころから珠算を習っていたので、挑戦してみようという単純な動機でしたが、もう一つの部活と両立するという覚悟も持ち入りました。二つの部活を両立することは、想像以上に大変でしたが、この選択をして忘れられない体験ができたと思っています。後輩のみなさんにも、時には大変でつらい思いをすることも少なくはないと思います。たくさん挑戦をし、良い経験を積んでほしいと願っています。私たちは、コロナウイルスなどの影響で、思うような高校生活を送れる人は少なかつ

たと思います。ですが、そのような状況だったからこそ、楽しさがありました。この経験を活かし、今後どんなことでも一生懸命取り組みたいと思います。

「全国大会に出場して」

三年C組 川村 真鈴

私たちは八月一日から五日までの五日間、全国高等学校総合文化祭の小倉百人一首部門に出場してきました。この大会では五月に行われた予選大会で勝ち抜いた上位八名が大会に参加することとなりました。花北青雲高校からは私のほかに齋藤光希さん、中村亜梨栖さんの三名で出場しました。

出場が決まった後は大会に向けてひたすら練習を繰り返しました。競技かるたは一試合の試合時間が一時間と長いので、平日の部活動は限られた時間内で取り組まなければならぬため、苦手を所を中心に効率よく時間を使うことに注力しました。また、部活動の時間にOB・OGの方に来てもらい私たちの練習に手伝ってもらいました。そのときに細かい技術の部分やメンタルの保ち方、チーム戦においての札の送り方などを教えていただきました。その後練習



試合も重ね、準備万端の状態に臨みました。



大会は、鹿兒島県で行われたため環境が違っていたり広い会場や大勢の人に思わず圧倒されそうになりました。一試合目は宮城県との試合でした。序盤から劣勢になり、苦しい場面が長く続きました。しかし、アドバイスでもらったことを思い出し、得意札は積極的に攻めて取りにいったり音の聞き分けにさらに集中しました。そこから粘り強く戦ったものの結果は惜敗という結果で終わりました。全国という舞台で一勝もできなかったというのがとても悔しかったです。今回の大会ではチーム戦だったこともあり上がりすぎず、程よい緊張感の中で試合をすることができました。練習してきたことを完璧にできなくとも発揮することも出来てよかったです。その中で負けてしまったもののメンタルなどの技術面以外にも学べたことは多くありました。この経験は部活動だけではなく、これから私たちが生きていくうえでも活用することができると思います。そのためこの大会は私たちにとってとても実りの大きいものとなりました。



後輩の方は私たちが成すことのできなかつた全国大会で試合に勝つという目標を日々練習に励んでいってほ

しいです。最後に私たちの活動を支えて下さった部活動の仲間や顧問の先生、かかわって下さった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

東北六県新人ビジネス計算競技大会に参加して

一年C組 大澤 歩佳

初めての東北大会でしたが、あまり緊張せずに落ち着いて問題を解くことができました。また、県大会のときよりも良い成績を残すことができたので良かったです。今回の大会では、他県の高校に勝つことができなかったため、より多くの問題を解けるように練習していきたいと思えます。今回の大会では、今回よりも良い成績を残し、他県の高校にも勝てるように頑張りたいと思います。

一年D組 松島 佳那

いつもの大会とは違う人数で、広い会場だったので緊張しました。また、自分の実力が足りていないと感じたので苦手なところを頑張って取り組みたいです。

今後は、普通計算の正答率を上げることで、また、九桁以上の読上算をできるようにすることで



令和5年度部活動成績

【ソフトボール部】

◆第70回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技 第3位

【卓球部】

◆岩手県高等学校体育大会 団体 第2位 (東北大会出場) シングルス 第3位

【男子】

◆第77回東北高等学校卓球選手権大会 団体 1回戦敗退

【女子】

◆岩手県高等学校体育大会 団体 第2位 (東北大会出場) シングルス 第7位

【柔道部】

◆第68回岩手県高等学校新人柔道大会 男子団体 3人制 第2位

【陸上競技部】

◆第75回岩手県民体育大会 1・2部女子やり投げ 第6位

【バドミントン部】

◆第75回岩手県高等学校総合体育大会 女子 やり投げ 第6位

【男子】

◆第77回東北高等学校卓球選手権大会 シングルス 1回戦敗退

【女子】

◆第69回岩手県高等学校新人大会 シングルス 第2位

【男子】

◆第77回東北高等学校卓球選手権大会 シングルス 1回戦敗退

【女子】

◆第74回岩手県高等学校新人陸上競技大会 女子 やり投げ 第5位

【男子】

◆第75回岩手県高等学校新人陸上競技大会 女子 やり投げ 第6位

【女子】

◆2023ファイナル競技大会 女子 やり投げ 第6位

【男子】

◆2023岩手県秋季陸上競技大会 女子 やり投げ 第6位

【女子】

◆第75回岩手県高等学校総合体育大会 女子 やり投げ 第6位

学校対抗 第2位 (東北大会出場) ダブルス 第2位

シングルス 第3位

◆第52回東北高等学校バドミントン選手権大会 学校対抗 2回戦敗退

ダブルス 1回戦敗退

シングルス 2回戦敗退

◆第68回岩手県種目別バドミントン選手権大会 少年の部男子ダブルス 第3位

ベスト8

◆第74回全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 2回戦敗退

◆第63回岩手県高等学校新人バドミントン大会 学校対抗 1位

ダブルス 第3位

シングルス 第2位

◆第88回岩手県総合バドミントン選手権大会 シングルス 第3位

◆第52回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会 学校対抗 準々決勝敗退

シングルス 1回戦敗退

◆第75回岩手県高等学校総合体育大会 学校対抗 第1位

ダブルス 第1位

シングルス 第1位

◆第88回岩手県総合バドミントン選手権大会 シングルス 第2位

◆第68回岩手県総合バドミントン選手権大会 ダブルス 第3位

シングルス 第3位

◆第52回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会 学校対抗 準々決勝敗退

シングルス 1回戦敗退

◆第75回岩手県高等学校総合体育大会 学校対抗 第1位

ダブルス 第1位

シングルス 第1位

◆第88回岩手県総合バドミントン選手権大会 シングルス 第2位

◆第68回岩手県総合バドミントン選手権大会 ダブルス 第3位

シングルス 第3位

◆第52回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会 学校対抗 準々決勝敗退

シングルス 1回戦敗退

菅原萌・熊谷楓
第1位 佐藤鈴緒
ベスト8 村松愛花・黒田紗希・菅原光

◆第52回東北高等学校バドミントン選手権大会 学校対抗 1回戦敗退

ダブルス 2回戦敗退

シングルス 2回戦敗退

◆第68回岩手県種目別バドミントン選手権大会 少年の部女子ダブルス 第1位

ベスト8

◆第74回全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 学校対抗 2回戦敗退

ダブルス 1回戦敗退

シングルス 2回戦敗退

◆特別国民体育大会バドミントン競技 少年女子 1回戦敗退

◆第63回岩手県高等学校新人バドミントン大会 学校対抗 第1位

ダブルス 第2位

シングルス 第2位

◆第88回岩手県総合バドミントン選手権大会 シングルス 第2位

◆第68回岩手県総合バドミントン選手権大会 ダブルス 第3位

シングルス 第3位

◆第52回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会 学校対抗 準々決勝敗退

シングルス 1回戦敗退

◆第75回岩手県高等学校総合体育大会 学校対抗 第1位

ダブルス 第1位

シングルス 第1位

◆第88回岩手県総合バドミントン選手権大会 シングルス 第2位

◆第68回岩手県総合バドミントン選手権大会 ダブルス 第3位

シングルス 第3位

◆第52回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会 学校対抗 準々決勝敗退

シングルス 1回戦敗退

◆第75回岩手県高等学校総合体育大会 学校対抗 第1位

ダブルス 第1位

シングルス 第1位

◆第88回岩手県総合バドミントン選手権大会 シングルス 第2位

◆第68回岩手県総合バドミントン選手権大会 ダブルス 第3位

シングルス 第3位

◆第52回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会 学校対抗 準々決勝敗退

シングルス 1回戦敗退

1回戦敗退 麥倉花
【ソフトテニス部】
◆第68回岩手県高等学校新人大会 団体 3回戦敗退

個人 2回戦敗退

◆第55回岩手県高等学校選抜バドミントン選手権大会 フットテニス大会

ベスト16

◆第75回岩手県高等学校総合体育大会 (男子) ベスト16

◆高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2023 岩手・I-LEAGUE DIVISION III B 第2位

◆第102回全国高等学校サッカー選手権岩手県大会 2回戦敗退

◆岩手県高等学校新人サッカー大会 ベスト16

◆第75回岩手県高等学校総合体育大会 (女子) ベスト16

◆第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 岩手県大会

◆第58回岩手県高等学校新人サッカー大会 計算大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

◆令和5年度岩手県高等学校ヒジネス計算競技大会

【俳句】 入選 藤島七香
◆第30回岩手県高等学校かるた選手権大会 団体戦 第2位

個人戦 第7位

◆第16回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

岩手県代表 齋藤光希・中村重梨栖

◆第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会小倉百人一首かるた部門

岩手県代表 齋藤光希・中村重梨栖

◆第30回岩手県高校かるた大会 個人戦 第6位

◆第30回岩手県高校かるた大会 個人戦 第7位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第8位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第7位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第6位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第7位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第6位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第7位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第6位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第7位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第6位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第7位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第6位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第7位

◆第30回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた大会

個人戦 第6位